

○南房総サイクリングフェスタ終わる

南房総サイクリングフェスタ（第57回全国サイクリング大会in千葉・第49回関東甲信越ブロックラリーin千葉）が、9月、千葉県：館山市を主会場として開催された。

当日は台風18号の影響で16日のサイクリングは中止となったが、15日は式典・懇親会が開催され盛り上がった。

埼玉からは20名がエントリーしたが悪天候によりキャンセルも多数あった。

懇親会では大会旗の引継ぎがあり、第50回関東甲信越ブロックラリーを主管する当協会に大会旗が引き継がれた。



○新春サイクリング

恒例の新春サイクリングを開催します。新年の走り始めですので多くの方の参加をお待ちしています。

日時 平成26年1月19日（日）9時30分～
集合 埼玉県浦和合同庁舎（県協会事務局）
コース 秋葉神社、榎本牧場

○埼玉サイクリングフェスティバル盛大に開催

第4回埼玉サイクリングフェスティバルが10月6日、熊谷スポーツ公園を主会場として開催され、サイクリング愛好家1500人（80kコース1100人、30kコース400人）が秋晴れの日を過ごした。

9時10分からスタート、途中6か所のエイドポイントが設けられ、地元の特産のB級グルメが振る舞われた。上田知事や地元市長さんに加え、浅田さんやポタガールも参加し大会を盛り上げた。協会からは50名がリーダーとして活躍した。自転車環境の推進を進める、埼玉県の意気込みが垣間見られた大会であった。



○さいたまクリテリウムbyツール・ド・フランス

10月26日（土）ツール・ド・フランス、100周年の記念イベントとして「さいたまクリテリウムbyツール・ド・フランス」がさいたま新都心、特設コースで開催された。

海外では初めての大会で20万人が本場のレースを堪能した。協会も一般体験走行のリーダーとして協力する予定だったが豪雨のため午前中のイベントは中止となった。

やはり本大会の覇者フルームは強かったが、ポイント賞ジャージを着たサガンへの応援がすごかった。





Photo:Yuzuru SUNADA

○乗れない人の自転車教室

恒例の乗れない人の自転車教室を下記の通り開催します。
毎回大変好評で今回も自転車に乗る喜びを味わうことでしょう。

- 日 時 平成25年12月1日(日)
- 日 程 10:00~11:30 実技1 13:00~15:00 実技2
- 場 所 大宮体育館グラウンドゴルフ場
- 参加費 500円(保険代他)
- 持ち物 手袋・帽子・自転車(ある方)



○県立久喜図書館文化講座案内

この度「自転車で心も体もリフレッシュ！」という講座が開催されます。
是非参加してみてください。

- 日 時 平成25年11月16日(土) 14:00~15:45
- 講 師 渡邊廣次氏
- 参 加 申し込みは不要で、当日会場においてください。

平成25年度 埼玉県立久喜図書館文化講座
自転車で心も体もリフレッシュ!

講師：渡邊廣次(わたなべ こうじ)氏
(埼玉県サイクリング協会理事長)

日時：平成25年11月16日(土) 14:00~15:45(開場 13:30)
会場：埼玉県立久喜図書館 1階視聴覚ホール
定員：140名(申込不要・無料)

同時企画：資料展
「今から始めよう! 自転車のスズメ」

11月6日(水)9時~11月24日(日)9時~2時(開館定休日を除く)

○自転車推進議員連盟のProject Team集会

自転車推進議員連盟のPT集会が10月28日、
衆議院議員会館で開催され、渡邊理事長が
出席した。自転車環境推進を早急に進める
ことが必要であることが決議された。



○埼青連研修会・交流会

埼玉県青少年団体連絡協議会恒例の
研修会・交流会が開催されます。

- 日 時 平成26年2月8日(土) 17:00~
- 場 所 浦和ワシントンホテル
- 研修会 映画「ちづる」 講演 赤崎正和氏
- 交流会 研修終了後行います
- *交流会参加の場合は参加費が必要です。
(協会まで問い合わせください)



<事務局だより>

□常任理事会

12月7日(土) 18:00~ 協会事務局

□事務局

1月から事務局は火、木曜日午後1時~4時、第2・4土曜日午後
1時~4時の開局となります。来局の際はホームページカレンダーか、☎にて
確認してください。

《編集後記》

10月は埼玉サイクリングフェスティバル、さいたまクリテリウムbyツール・ド・フランスと、大イベントが続いた。協会は出来るだけの
協力を行ってきた。2月にはさいたま市西区の「サイクリングフェスタ」、埼玉県の「自転車見本市」が行わ
れる。クリテリウムには私の身近の人がかなり行っていたようで、会う人達とその話題になることが多い。こ
うして少しでも多くの方が自転車に関心を持ってくれれば、自転車環境もきっと良くなって行くことだろう。